

RYOBI

レーザー距離計

LDM-600

取扱説明書



もくじ

■安全上のご注意	1
■本製品について	
用途	3
各部の名称	3
仕様	5
付属品	6
■使い方	
作業前の準備をする	7
電池を取付ける・取外す	7
作業する	9
電源を入れる	10
測定単位を切替える	11
基準を選択する	12
測定する	14
距離を測定する	14
面積を測定する	15
容積・体積を測定する	16
辺測定（2辺測定）する	17
辺測定（3辺測定）する	18
連続測定する	19
測定値の加算	20
測定値の減算	21
本機の精度チェック	22
■困ったときは	
故障かな？と思ったら	23
■お手入れと保管	
保管・廃棄	24
■保証規定	25
■保証書	26

このたびは、リョービ レーザー距離計をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

6987067

安全上のご注意

- 事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告

1. レーザー光を直接のぞかないでください。
2. 光学補助機器（例えば、双眼鏡や望遠鏡など）でレーザー光を直接見ないでください。
 - ・目を痛めるおそれがあります。
3. 鏡のように反射したり、不意の反射を受けそうな場所（例えばプリズム、鏡、金属面、窓ガラス）にレーザー光を向ける際、反射されたレーザー光を直視しないでください。
4. 取扱説明書に記載された使用方法に従って使用してください。
5. 取扱説明書に記載されている付属品やアクセサリ以外は使用しないでください。
6. 本機を分解・改造しないでください。
7. 測定を行なう場合は安全な測定場所を確保してください。

警告

8. レーザー光が人や動物に向いていないことを確かめて、本機を使用してください。
9. 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、本機に破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。
10. 使用中に異常が疑われるときは、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。

注意

1. 使用前に、本機に損傷がないか点検してください。
 - ・使用前に、本機に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
2. 無理な姿勢で作業しないでください。
 - ・常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
 - ・ハシゴを使用しているときや稼働中の機械の近く、保護されていない機械部品や設備の近くで測定する場合に、足場上で、故意または無責任な行動をとらないでください。
3. 子供を近づけないでください。
 - ・子供に本機を使用させないでください。
4. 雨や水にぬらさないでください。
 - ・性能や寿命が低下し、故障の原因になります。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・子供や製品知識を持たない方の手の届かない安全な所、または鍵の掛かる所に保管してください。
6. 点検は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。
 - ・点検の知識や技術のない方が点検しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

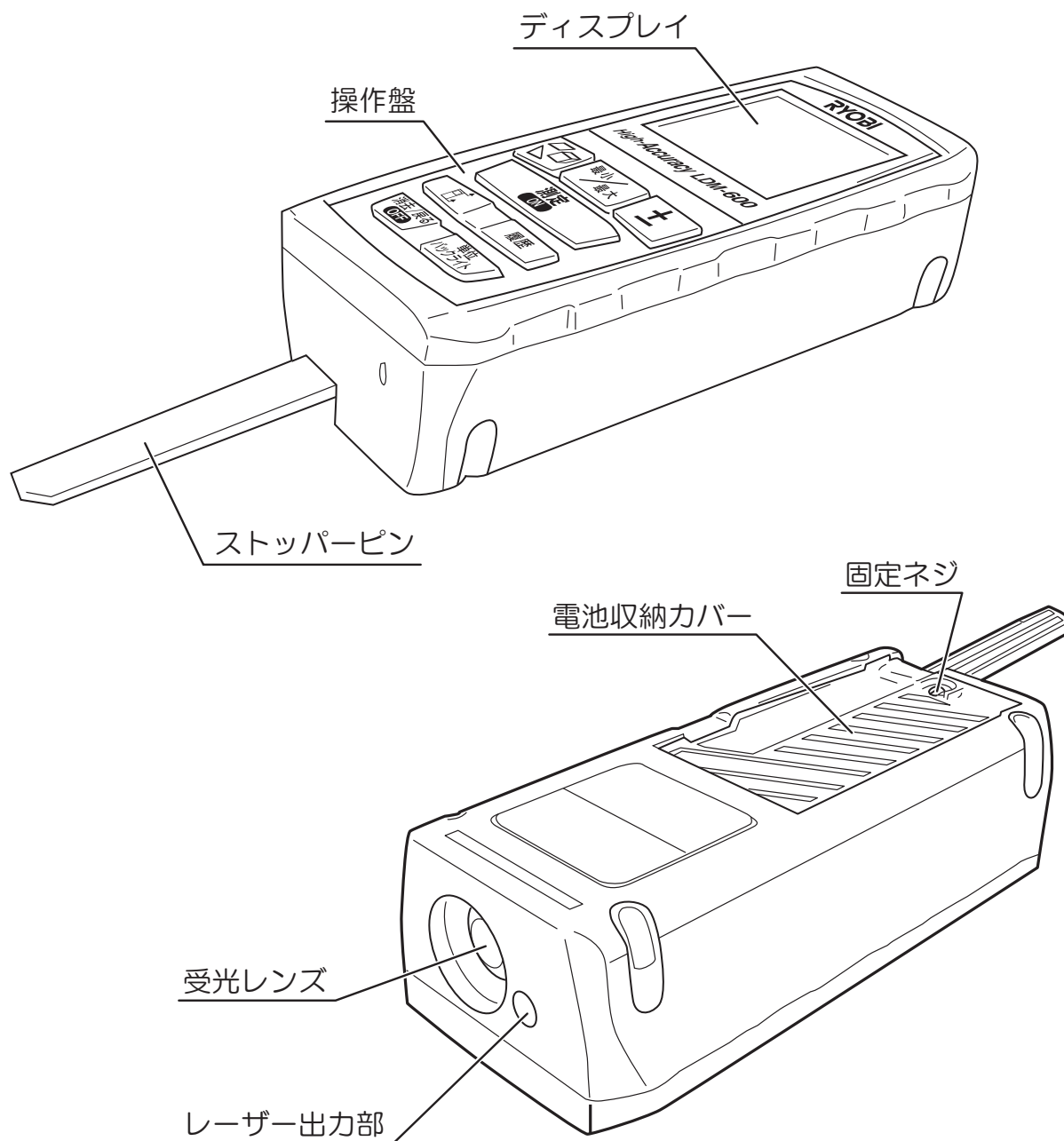
この取扱説明書は、大切に保管してください。

本製品について

■用途

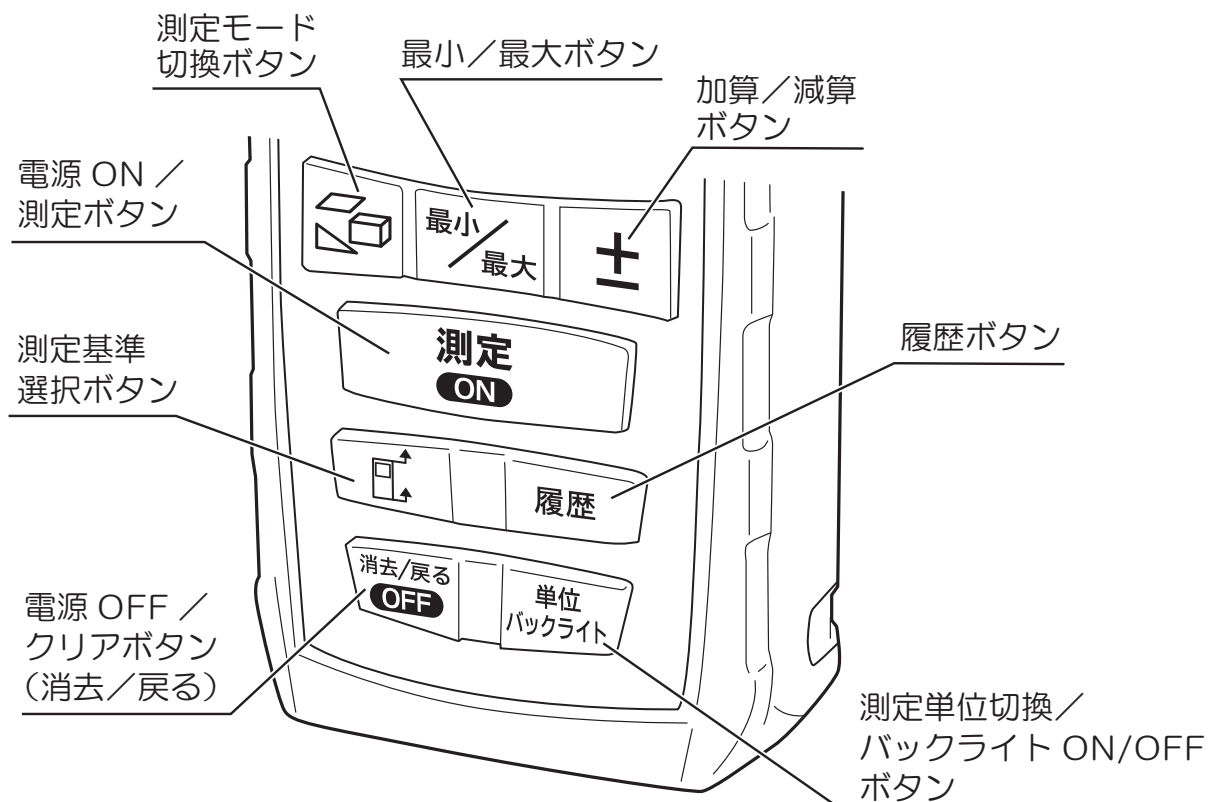
- ・距離、面積、体積、辺（ピタゴラスの定理）の測定

■各部の名称

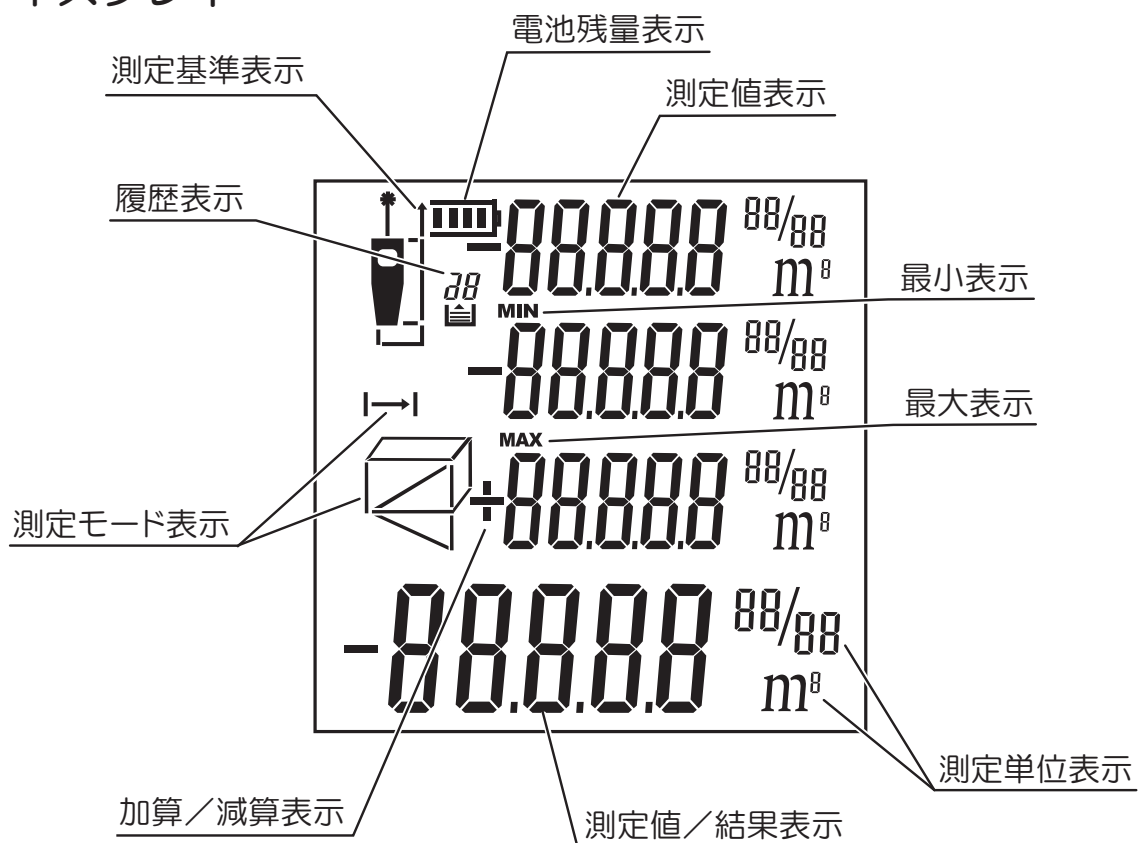


※イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

●操作盤



●ディスプレイ



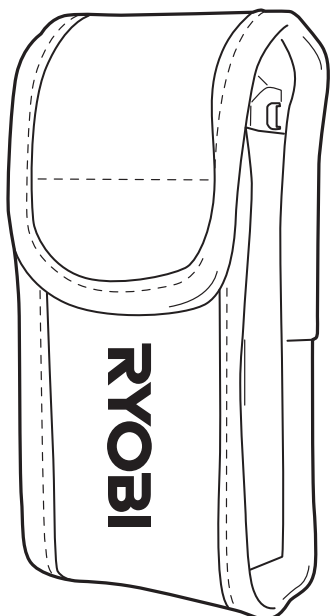
本製品について

■仕様

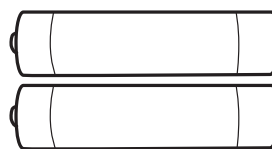
型 番	LDM-600
測定可能範囲	0.1 ～ 60m * 1
測定精度	± 1.5mm * 2
最小測定単位	1 mm
使用選択単位	m, m ² , 尺 (10/33m), 坪 (33/10m ²)
使用温度範囲	0 ～ + 40℃
保管温度範囲	－ 10 ～ + 50℃
レーザークラス	2
レーザーの種類	635 nm、 < 1mW
防じん・防水構造	IP54（電池収納部を除く）
本体寸法 （長さ×幅×高さ）	115 × 52 × 32.5mm
質 量	140 g（電池を含む）
電 源	単 4 形アルカリ乾電池 2 本
電池寿命	約 5,000 回 （新品のアルカリ乾電池使用時）
自動電源オフ レーザー光 本体	約 30 秒 約 3 分

- * 1 測定可能範囲は、測定対象表面からのレーザー光の反射特性や、使用周囲の明るさにより異なります。測定対象表面からの拡散反射（鏡反射ではない）が確保され、レーザー光と周囲との明るさの差が大きい、屋内、暗い場所などでその測定能力を発揮します。強い直射日光が当たるなど、測定に不利な環境で使用する場合は、必要に応じて測定対象表面を白い紙で覆うなどしてください。
本体の前方端部を基準にした場合、0.1m から測定可能です。
- * 2 悪条件下（強い太陽光、反射の弱い対象物、不安定な周囲の温度）での測定では、± 3mm までの誤差が生じることがあります。

■付属品



・ポーチ …………… 1



・単4形アルカリ乾電池 …… 2



・⊕ドライバー …………… 1



・付属されている電池は作動テスト用です。保管状態によっては、電池が放電し、容量が少なくなっている場合があります。
お早めに新しい電池に交換してください。

※イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

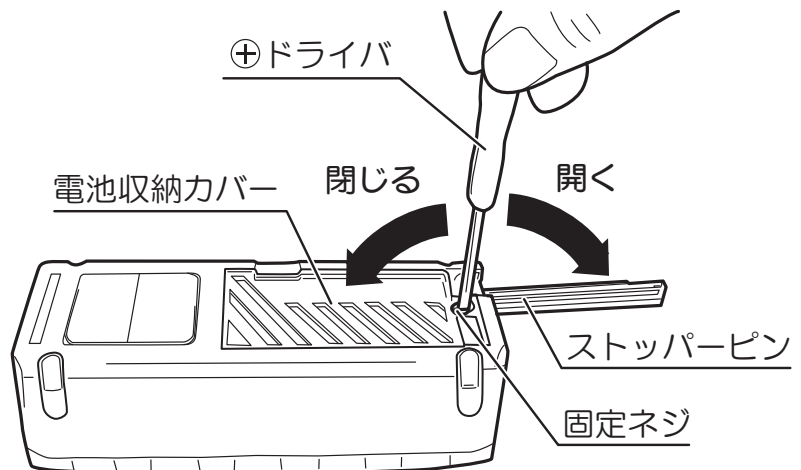
使い方

■作業前の準備をする

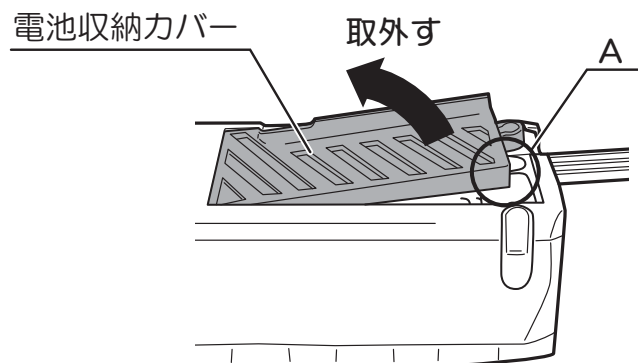
●電池を取付ける・取外す

(取付け)

1. ストッパーピンを矢印方向(開く)に倒します。
2. 電池収納カバーの固定ネジを付属品の⊕ドライバで外します。



3. A 部を引っ掛けて電池収納カバーを取外します。

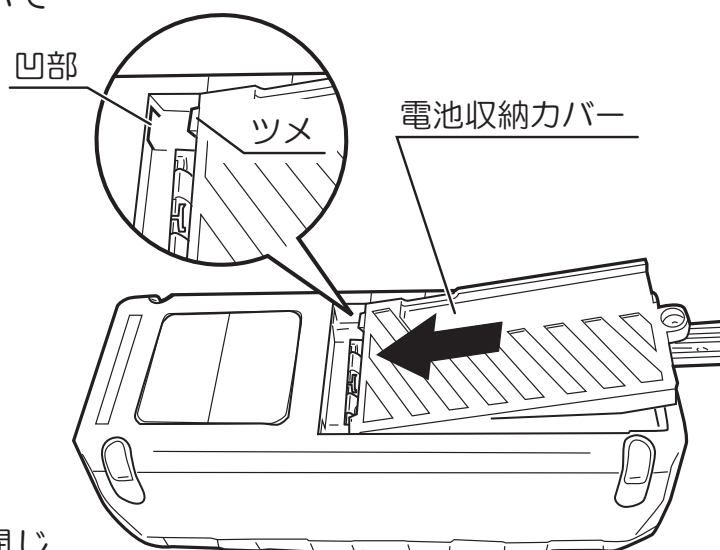


4. 電池収納部内の表示に従い、電池の向きに注意して電池を取付けます。
 - ・アルカリ乾電池を使用してください。
 - ・電池を交換するときは、常に新しい電池を 2 本セットで交換してください。この際、メーカーおよび容量の異なる電池を使用しないでください。
 - ・付属されている電池は作動テスト用です。

⚠ 警告

- ・電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ・電池を一般家庭ゴミとして棄てたり、火の中へ入れたりしないでください。

5. 電池収納カバーのツメを本体の凹部にさし込んで取付け、⊕ドライバで固定ネジを締付けます。



6. ストッパーピンを矢印方向（閉じる）に倒し、元の位置に戻します。



長期にわたって本機をご使用にならない場合は、本体から電池を取外してください。長期にわたって放置すると、電池の腐食（液漏れ）による本体の故障および自然放電につながります。

（取外し）

1. ストッパーピンを矢印方向（開く）に倒します。
2. 電池収納カバーの固定ネジを付属品の⊕ドライバで外します。
3. A 部を引っ掛けて電池収納カバーを取外します。
4. 電池を取外します。
5. 電池収納カバーのツメを本体の凹部にさし込んで取付け、⊕ドライバで固定ネジを締付けます。
6. ストッパーピンを矢印方向（閉じる）に倒し、元の位置に戻します。

使い方

■作業する

⚠ 警告

- ・レーザー光を直接のぞかないでください。
- ・レーザー光が人や動物に向いていないことを確かめて、本機を使用してください。

⚠ 注意

- ・本機を水分や直射日光から保護してください。
- ・極度に温度の高いまたは低い環境、極度に温度変化のある場所では使用しないでください。

- ・測定するときは、レーザー光をさえぎるものがないことを確認してください。
- ・測定中は本機を動かさないでください。（連続測定モードは除く）
- ・測定はレーザー光の中心が対象になります。これは対象物に対して斜めに照準された場合も同様です。
- ・測定範囲は、使用環境の明暗度および照準対象面からの反射特性により異なります。
日光照射の強い屋外で作業を行なう際には、照準対象面に影をつけるとレーザー光が見やすくなります。
- ・透明な表面（ガラス、水面など）および鏡表面を対象物にして測定を行なった場合、正しく測定できないことがあります。
同様に穴があいている表面や、凹凸のある表面、温度差のある空気層、間接的な反射光の受光などが測定誤差の原因になることがあります。これらの現象は物理的原因によるものであり、本機でのお取り扱いによりこれらの問題を解消することはできません。
- ・測定中にエラーが発生した場合は、原因を取除いてから、再度測定してください。

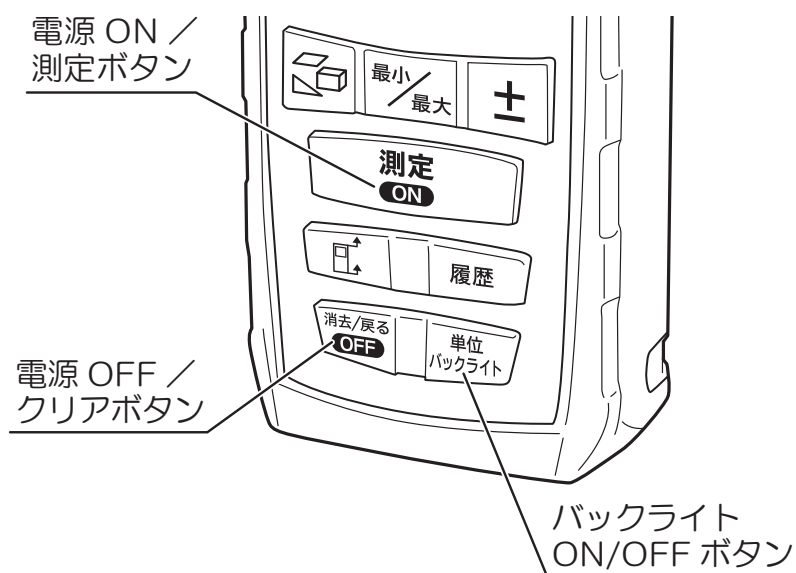
●電源を入れる

（スイッチの ON/OFF）

スイッチ ON：「電源 ON/ 測定ボタン」を約2秒間、長押しします。

- ・電源を入れるとレーザー光が照射されます。
- ・照射後、約 30 秒以上測定を行なわないと、レーザー光は自動的に切れます。
- ・使用しない場合、約 3 分で自動的に電源 OFF になります。

スイッチ OFF：「電源 OFF/ クリアボタン」を約2秒間、長押しします。



（バックライトの ON/OFF）

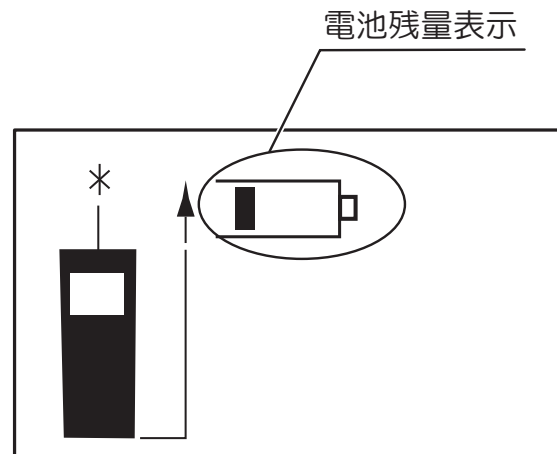
- ・「バックライト ON/OFF ボタン」を押すと、バックライトが点灯／消灯します。

電源を入れた後、変更しない限りバックライトは点灯に設定されています。

使い方

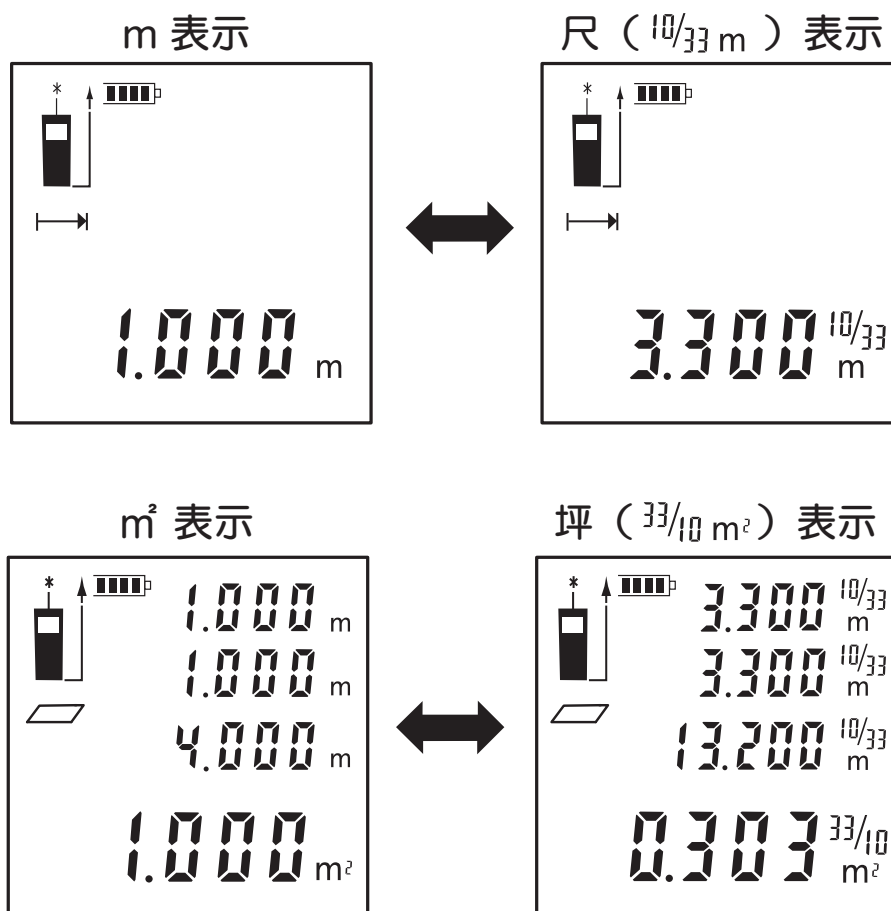
(電池残量表示)

- ・ディスプレイの電池残量表示を確認してください。
- 電池残量が1目盛になったら、電池交換の時期です。
- 電池を交換するときは、同じメーカーおよび容量の新しい電池を2本セットで交換してください。



●測定単位を切替える

- ・「測定単位切替／バックライト ON/OFF ボタン」を長押しすると、測定単位が $m \Leftrightarrow$ 尺 ($10/33m$), $m^2 \Leftrightarrow$ 坪 ($33/10m^2$) に切替わります。
- ・測定値を表示したまま単位を切替えることが可能です。
- ・電源を入れた直後は「m」表示になっています。

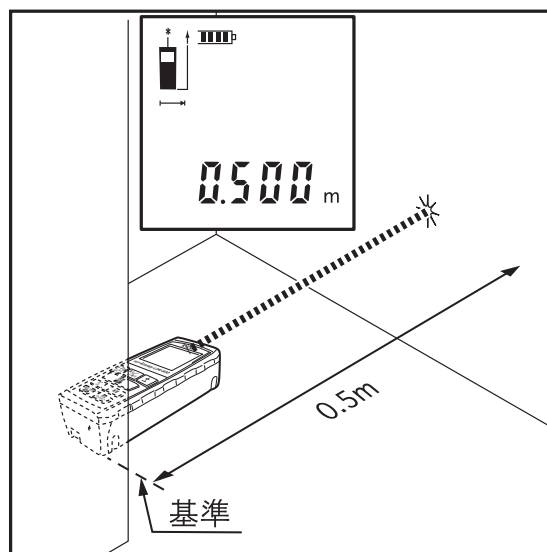


●基準を選択する

- ・ 基準は、“本体の後方端部” “本体の前方端部” “ストッパーピンの先端部” の3個所で設定できます。
- ・ 電源を入れた直後は、後方端部が基準になっています。
- ・ 一度任意の基準に設定した後は、基準を変更するか電源を切らない限り同じ基準で測定されます。

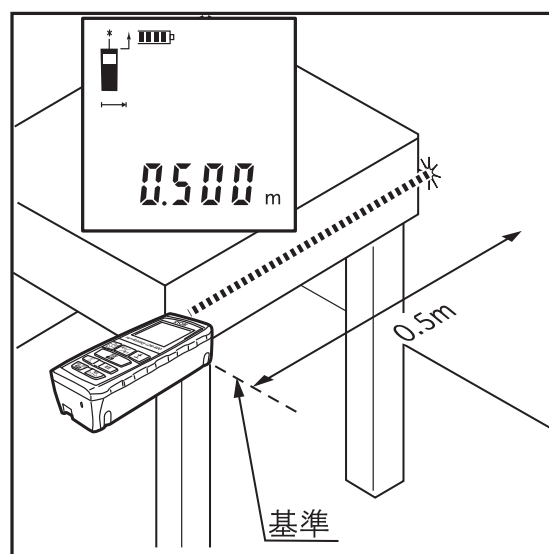
本体の後方端部（壁に当てる場合など）

ディスプレイに “” が表示されるまで、「測定基準選択ボタン」を繰り返し押します。



本体の前方端部 （テーブルの角から測定する場合など）

ディスプレイに “” が表示されるまで、「測定基準選択ボタン」を繰り返し押します。

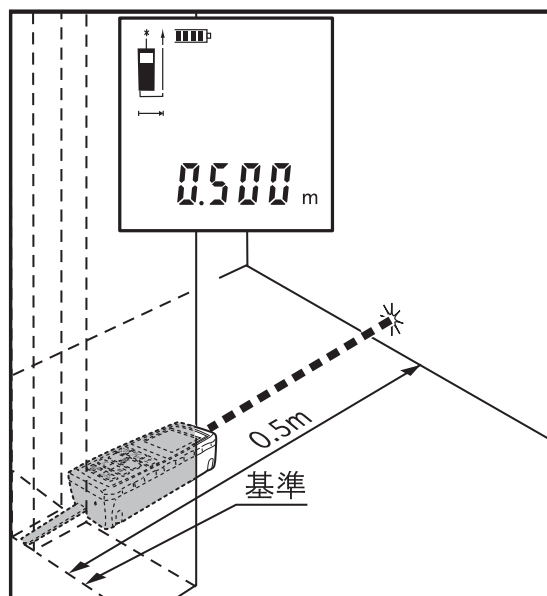


使い方

ストッパーピンの先端部 (溝の底から測定する場合など)

ディスプレイに“”が表示されるまで、「測定基準選択ボタン」を繰り返し押します。

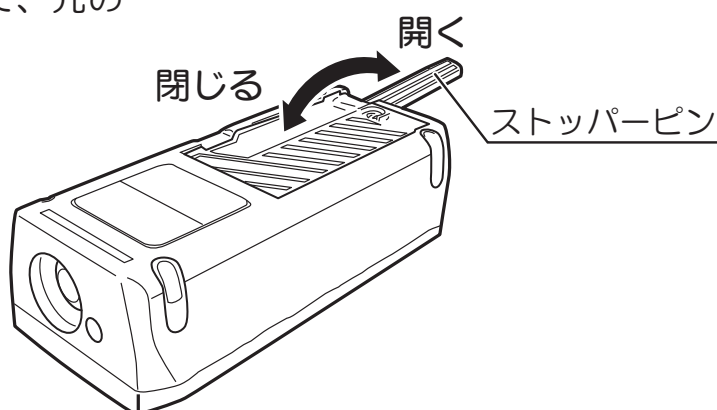
ストッパーピンの使用は、空間の隅から測定する場合（室内の対角線）や測定が困難な場所（シャッターレールなど）での測定に適しています。



ストッパーピンは、矢印の方向に開くとピンが立ちます。
収納するときは、本体側に倒して、元の位置に戻します。



不意に引っ掛かり、破損するおそれがありますので、使用しない時は収納してください。



●測定する

⚠ 警告

- ・レーザー出力部が人や動物に向いていないことを確かめてから、レーザー光を照射させてください。

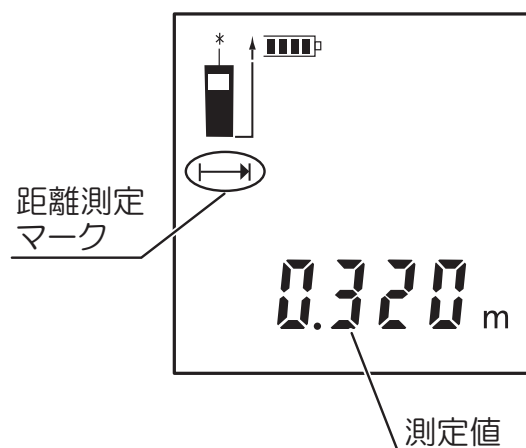


- ・電源を入れた直後は、“距離測定モード”が選択されています。任意の測定モードに設定する場合は、「測定モード切換ボタン “”」を押してください。
- ・照射後、約 30 秒以上測定、操作を行なわないと、レーザー光は自動的に切れます。切れてしまったときは、再度「電源 ON/ 測定ボタン」を押すと照射されます。
測定、操作を行なわないと、約 3 分で自動的に電源 OFF になります。
- ・ディスプレイの“測定モード表示”で点滅する辺は、これから測定する箇所（辺）を示しており、測定が完了すると点灯に変わります。
ただし、“距離測定モード”では点滅表示していません。

距離を測定する

距離を測定します。

1. 「電源 ON/ 測定ボタン」または「電源 OFF/ クリアボタン」を押して「距離測定モード」に設定します。「距離測定モード」になると、“”が表示されます。
2. 「測定ボタン」を押して、レーザー光を照射させます。
3. レーザー光を目標面に当てます。
4. 「測定ボタン」を押して測定します。
 - ・測定が完了すると“ピッ”と電子音が鳴り、測定値がディスプレイに表示されます。
5. 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

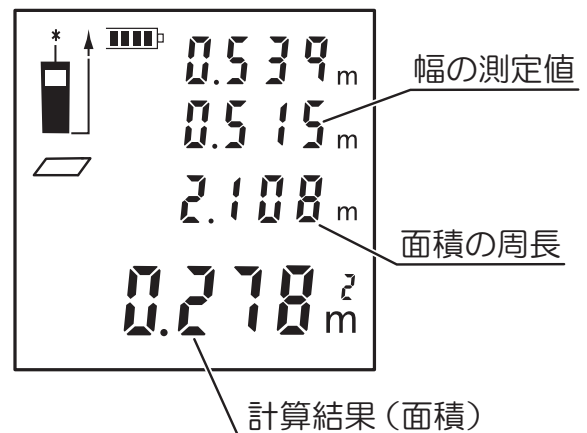
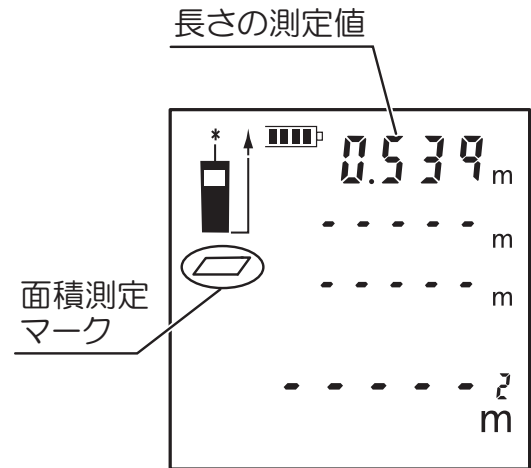


使い方

面積を測定する

長さと幅を測定して面積を求めます。

1. ディスプレイに面積測定マーク “” が表示されるまで、「測定モード切換ボタン “”」を繰り返し押して「面積測定モード」に設定します。
2. 「測定ボタン」を押して、レーザー光を照射させます。
3. レーザー光を長さの目標面に当てます。
4. 「測定ボタン」を押して長さを測定します。
 - ・測定が完了すると“ピッ”と電子音が鳴り、長さの測定値がディスプレイに表示されます。
5. レーザー光を幅の目標面に当てます。
6. 「測定ボタン」を押して幅を測定します。
 - ・測定が完了すると“ピッ”と電子音が鳴り、面積の周長と面積の計算結果がディスプレイに表示されます。



7. 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

容積・体積を測定する

長さ、幅、高さを測定して、容積・体積を求めます。

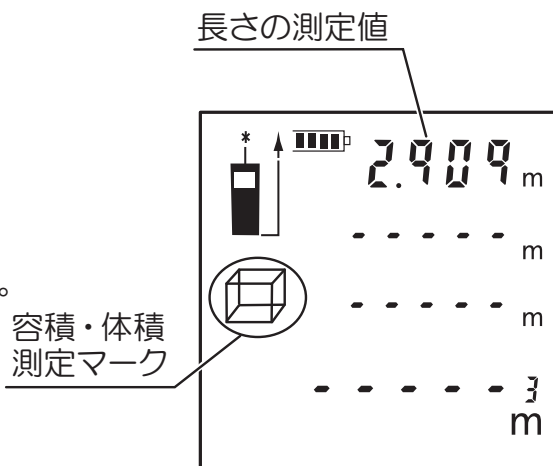
1. ディスプレイに容積・体積測定マーク “” が表示されるまで、「測定モード切換ボタン “”」を繰り返し押して「容積・体積測定モード」に設定します。

2. 「測定ボタン」を押して、レーザー光を照射させます。

3. レーザー光を長さの目標面に当てます。

4. 「測定ボタン」を押して長さを測定します。

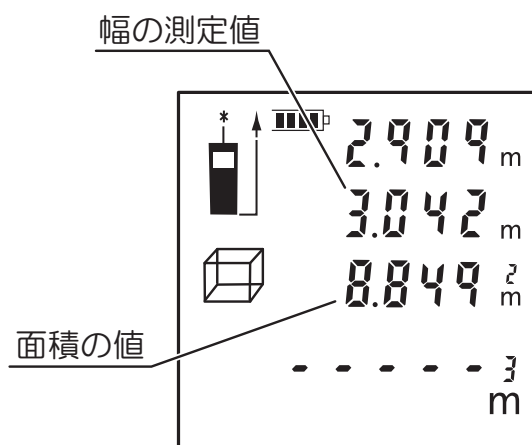
- ・測定が完了すると“ピッ”と電子音が鳴り、長さの測定値がディスプレイに表示されます。



5. レーザー光を幅の目標面に当てます。

6. 「測定ボタン」を押して幅を測定します。

- ・測定が完了すると“ピッ”と電子音が鳴り、幅の測定値と面積の値がディスプレイに表示されます。



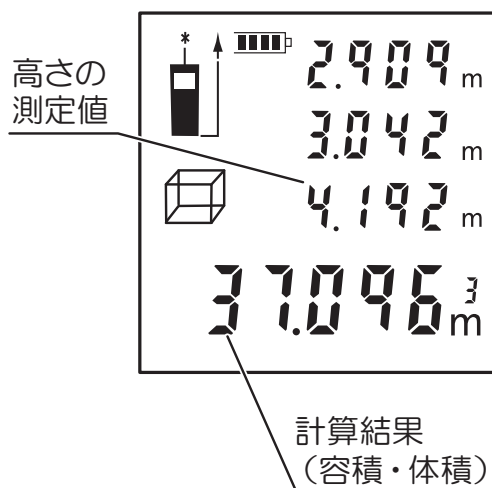
7. レーザー光を高さの目標面に当てます。

8. 「測定ボタン」を押して高さを測定します。

- ・測定が完了すると“ピッ”と電子音が鳴り、容積・体積の計算結果がディスプレイに表示されます。（このとき、面積の値は表示されません）

9. 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

10. 繰り返し測定する場合は、上記 1～8 項の手順で行ないます。

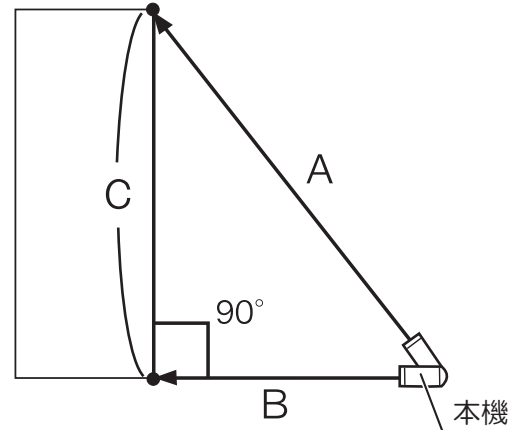


使い方

辺測定（2辺測定）する

ピタゴラスの定理により離れた場所からでも、2ヶ所（2辺）の測定値により建物の高さや幅が測定できます。

障害物にレーザー光が遮られて直接測定ができない場合や、反射に適した対象物がない場合に斜線Aと水平距離Bを測定して離れた場所の鉛直方向の距離（高さ）や幅『C』を測定します。BとCは直角である必要があります。



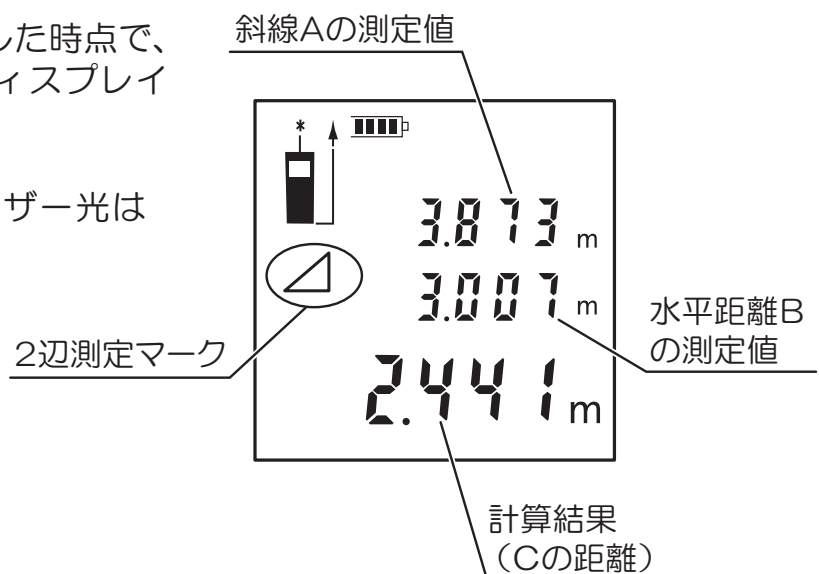
1. ディスプレイに2辺測定マーク“”が表示されるまで、「測定モード切換ボタン“”を繰り返し押して「辺測定モード（2辺測定）」に設定します。
2. 「測定ボタン」を押して、レーザー光を照射させます。
3. 斜線Aを測定します。
4. 水平距離Bを測定します。



- ・2辺の測定は、同一の位置で行なってください。
- ・上記4項のBの測定は、測定対象Cに対して90°になることが必要です。

水平距離Bの測定が完了した時点で、Cの距離の計算結果がディスプレイに表示されます。

5. 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。



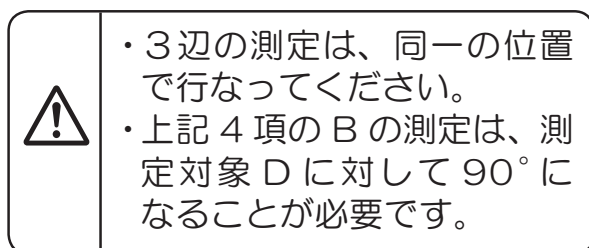
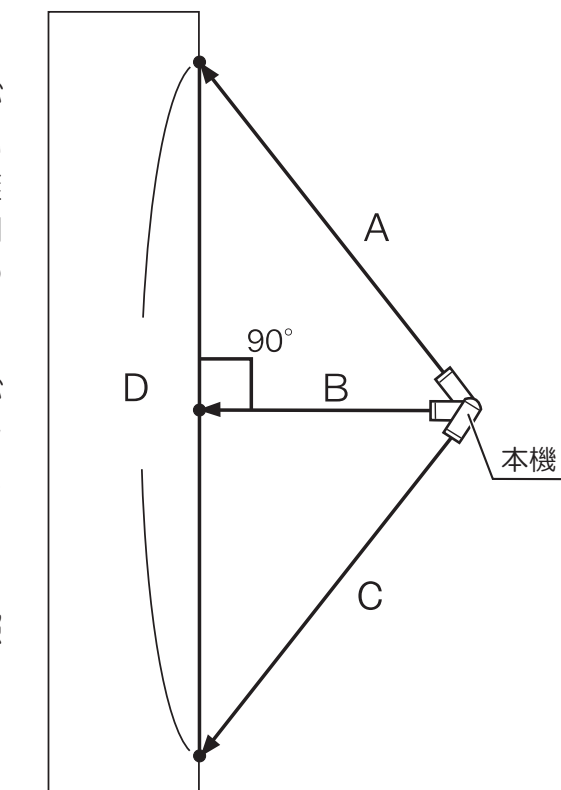
※ 辺測定機能は、推定距離を算出する機能であり、実測値とは異なります。

辺測定（3 辺測定）する

ピタゴラスの定理により離れた場所からでも、3ヶ所（3 辺）の測定値により建物の高さや幅が測定できます。

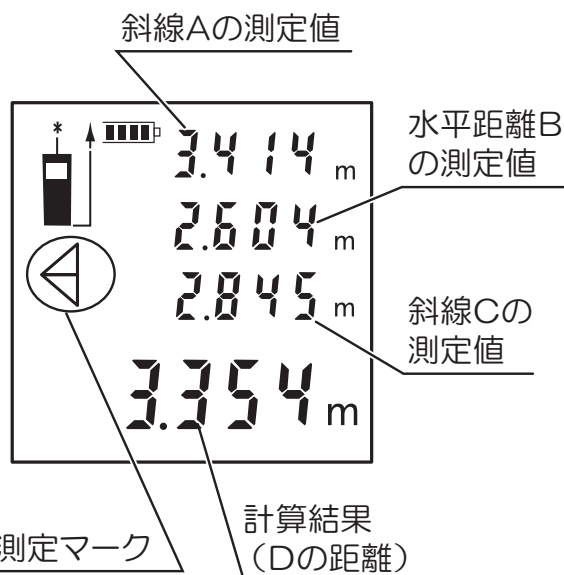
障害物にレーザー光が遮られて直接測定ができない場合や、反射に適した対象物がない場合に斜線 A、C と水平距離 B を測定して離れた場所の鉛直方向の距離（高さ）や幅『D』を測定します。B と D は直角である必要があります。

1. ディスプレイに3辺測定マーク “” が表示されるまで、「測定モード切替ボタン」 “” を繰り返し押して「辺測定モード（3 辺測定）」に設定します。
2. 「測定ボタン」を押して、レーザー光を照射させます。
3. 斜線 A を測定します。
4. 水平距離 B を測定します。
5. 斜線 C を測定します。



斜線 C の測定が完了した時点で、D の距離の計算結果がディスプレイに表示されます。

6. 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。



※ 辺測定機能は、推定距離を算出する機能であり、実測値とは異なります。

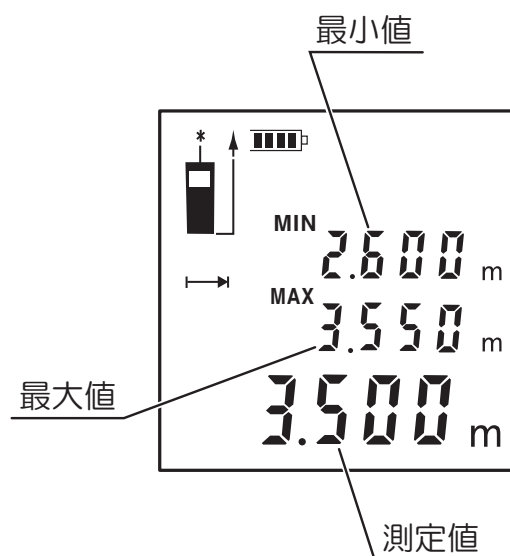
使い方

連続測定する

照準点（レーザー光の照射面）からの距離を測定することができます。

1. 「最小／最大ボタン」を押します。
2. 測定値は約 0.5 秒ごとに更新されます。
ディスプレイに希望する距離が表示されるまで、本機を移動させてください。
3. 希望する距離の値が表示され、終了する場合は「電源 ON/ 測定ボタン」または「電源 OFF/ クリアボタン」を押して、連続測定を終了します。
連続測定モードは、約5分を経過すると自動的に測定を終了します。
測定が終了すると、最後の測定値と測定された最小値と最大値がディスプレイに表示されます。

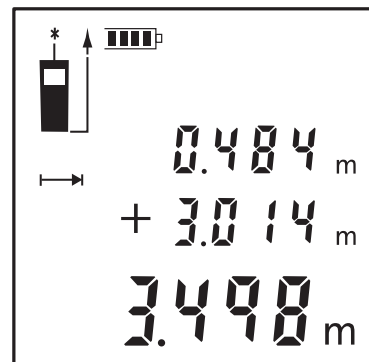
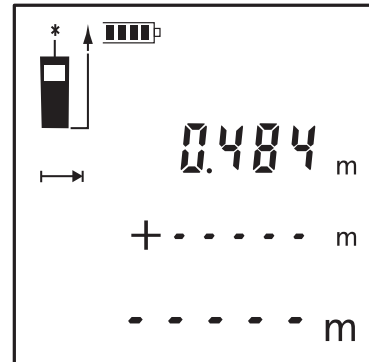
※ 連続測定を再開する場合は、再び「最小／最大ボタン」を押してください。
このとき、ディスプレイに表示されていた最小値、最大値、測定値はすべて消去されます。



測定値の加算

「加算／減算ボタン」を使って、測定値の加算ができます。面積・容積も同じ方法で加算が可能です。

1. 測定を行ないます。
(14 ページ「測定する」参照)
2. 測定値がディスプレイに表示されたら、「加算／減算ボタン」を押して「+」を表示させます。
3. 2つ目の測定を行ないます。
ディスプレイの一番下に加算された値が表示されます。
4. 必要に応じ、上記の操作を繰り返し行ないます。

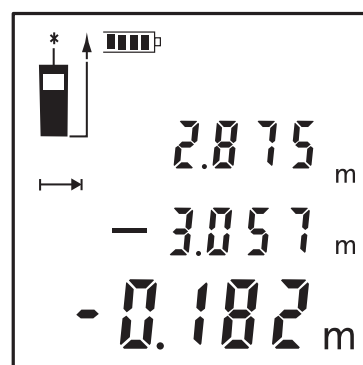
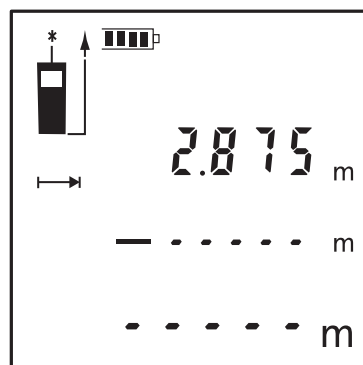


使い方

測定値の減算

「加算／減算ボタン」を使って、測定値の減算ができます。面積・容積も同じ方法で減算が可能です。

1. 測定を行ないます。
(14 ページ「測定する」参照)
2. 測定値がディスプレイに表示されたら、「加算／減算ボタン」を長押しして「-」を表示させます。
3. 2つ目の測定を行ないます。
ディスプレイの一番下に減算された値が表示されます。
4. 必要に応じ、上記の操作を繰り返し行ないます。

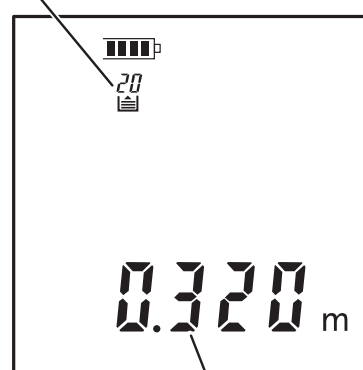


メモリ機能

「履歴ボタン」を押すと、直近の測定値（計算結果）が表示されます。さらに「履歴ボタン」を押し続けると、測定 20 回分までさかのぼれます。

「電源 OFF / クリアボタン」を押すと、「距離測定モード」に表示されます。

履歴表示



測定値
(計算結果)

■本機の精度チェック

誤って落としたり、ぶつけたりして精度が気になるときは、下記の手順で精度チェックを行なってください。

- ・ 測定作業後に精度比較チェックが行なえるよう、すべての測定値を記録しておいてください。
- 1. すでに寸法がわかっている 1 ～ 10m 程度の辺を選びます。
（室内幅、ドア用開孔口などの変化することのない場所）
- 2. この辺の測定を 10 回続けて行ないます。
寸法値の許容誤差は最大 $\pm 1.5\text{mm}$ * です。

* 悪条件下（強い太陽光、反射の弱い対象物、不安定な周囲の温度）での測定では、 $\pm 3\text{mm}$ までの誤差が生じることがあります。

困ったときは

■故障かな？と思ったら

- ①「取扱説明書」を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	処 置
エラーコードが表示される	下記のエラーコード一覧を参照してください。
電源が入らない	電池は正しくセットされていますか？ → 電池の向きに注意して正しく取付けてください。
	電池が放電していませんか？ → 新しい電池と交換してください。

エラーコード	原 因	対処法
Err204	データ演算エラー	電源の ON/OFF を何度か行ない、再度測定してください。
Err208	電流値が高いです	電源の ON/OFF を何度か行ない、再度測定してください。
Err220	電池残量不足	新しい乾電池と交換してください。
Err255	受信機への信号が弱すぎます	適切な反射が得られるように、測定対象物へ白い紙を覆うなどしてください。また、測定可能範囲外の可能性があります。測定可能範囲内で測定してください。
Err256	受信機への信号が強すぎます	適切な反射が得られるように、測定対象物へ白い紙を覆うなどしてください。また、強い光をレンズへ照射しないで下さい。
Err261	測定可能範囲外です	測定可能範囲内で測定してください。
Err500	データ読取りエラー	電源の ON/OFF を何度か行ない、再度測定してください。

※ これらの処置を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れと保管

■保管

- 本機を保管・運搬する際には、必ず付属のポーチに収納してください。
- 本機はきれいな状態を保ってください。
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 汚れは湿ったやわらかい布で拭き取ってください。洗剤や溶剤は使用しないでください。
- 受光レンズはメガネやカメラレンズなどの光学補助機器と同等に損傷を受けやすい部品です。特に慎重にお取り扱いください。
 - ・レンズのほこりは、吹き飛ばしてください。
 - ・レンズは指で触れないでください。
- 使用しない本機や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。
 - ・お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しないでください。
 - ・軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所には保管しないでください。
 - ・温度が急変する場所には保管しないでください。
 - ・振動する場所には保管しないでください。

■廃棄

本機の廃棄処分は各地域の行政が指導する方法に従って適切に処分してください。本機を不適切に廃棄処分すると、以下のような問題が起きるおそれがあります。

- プラスチック部品を燃やすと、有毒ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 電池が損傷したり、加熱され爆発したりすると、毒物の発生、火傷、けが、腐食、火事あるいは環境汚染の原因となることがあります。
- 本機を無責任に廃棄処分すると、製品知識の無い人が規定を守らずに使用するおそれがあります。そのため自分自身だけでなく第三者も重症を負ったり、環境汚染を起こすことがあります。

保証規定

本製品には購入日より 2 年間の製品品質保証が適用されます。
お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合は下記規定に基づき、無償で新品と交換いたします。保証サービスを受ける際は、お買い上げの販売店に製品と共に保証書を添えてお申し付けください。



本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 保証書の有効期限は保証書表面のご購入日から 2 年間とします。
- 保証期間を問わず以下の場合には保証は適用されません。
 1. 理由を問わず保証書のご提示がない場合。
 2. 本保証書の所定事項の未記入、販売店名の記入または販売店を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句が不正に訂正されている場合。
 3. お買い上げ後の落下、浸水、輸送などにより故障または破損した場合。
 4. 取扱説明書の指示に反する使用により故障または損傷した場合。
 5. 使用上の誤り、保守の不備や不注意により故障または損傷した場合。
 6. 火災、水害、地震、落雷、その他天災地変などにより故障または損傷した場合。
 7. お買い上げ店以外での修理、調整および改造により故障または損傷が生じた場合。

保証書

モデル名 LDM-600		製造番号	
お客様	お名前		
	ご住所 〒 電話 ()		
お買い上げ日 平成 年 月 日		保証期間（お買い上げ日より） 2 年	
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号 印		

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて保証サービスをお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後のサービスなどについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本 社 〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1
Tel. (052)806-5111 Fax. (052) 806-5141
<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>

レシート貼付

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本 社 〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1
Tel. (052)806-5111 Fax. (052) 806-5141
<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>

